

平成27年度 院内看護研究発表会

専門・認定看護師会による 院内教育活動と成果報告

平成27年11月28日（土）



専門・認定看護師会

○稲葉温子 佐藤真理子





専門看護師・認定看護師会

専門看護師1名、認定看護師14名が活動しています！

糖尿病患者さんの治療や療養には、“その人の生活や生き方”が影響します。だからこそ、看護の力が必要です。糖尿病患者さんの治療や療養支援でもっといい方法はないだろうかと悩んだときには遠慮なく声をかけてください。



救急看護認定看護師
森真須美
(看護管理室・救急センター)

突発的に起こった症状や病気の患者及び家族に対して、医師・看護師・メディカルと一緒に診断・治療をチームでおこなっています。救急では“直感”が大事、次に『なぜこの病態になったのか』です。



手術看護認定看護師
小泉匡司 (手術室)

慢性疾患看護専門看護師
佐藤真理子 (看護外来室)



糖尿病看護認定看護師
小坂ひとみ
(内科外来)



感染管理認定看護師
赤木節子 五藤輝之
(感染制御室)



脳卒中リハビリテーション
認定看護師
田代紗往里 (本館7階)

脳卒中は突然発症し、後遺症が残り、それまでの生活の変更を余儀なくされます。患者さんのケアや療養上のこと等、悩むことがあれば、ささいなことでも声をかけて下さい。一緒に患者さんをサポートしていければと思います。

良い手術医療を提供するためには、外来から入院、そして在宅へと繋ぐ一貫した看護が必要です。患者様が納得できる周術期を送れるように連携していきましょう。何かあれば気軽にご相談下さい。

糖尿病を持ちながら生活する人に、どのように療養に取り組んでいけばよいのかを一緒に考え支援していきましょう。何でも、気軽にご相談ください。



入院部門と外来部門の看護の連携が大切になります。ストーマ・褥瘡・皮膚トラブル・・・WOCとして出来ることを、外来部門で行います。

皮膚・排泄ケア認定看護師

藤原昌子 (皮膚科/形成外来)
前田あけみ (外来/褥瘡管理者)

WOCは創傷・ストーマ・失禁の3領域を専門としています。現在、褥瘡管理者として専従で活動をしています。創傷・ストーマ・失禁に関するケアや処置などで困ることがあったら遠慮なくお声かけください。

透析看護認定看護師
大脇浩香
(腎臓病センター)

化学療法は薬の投与方法や副作用も様々で、どんなことに注意して患者さんに関わればよいか難しい印象があるかもしれません。患者さんやスタッフの方々の悩みや疑問について一緒に考え、解決のお役に立ちたいと思っています。

乳がん看護認定看護師
岡本直美 (外科外来)

腎不全を抱えながらも「その人らしく生きる」を手助けできればと考えています。看護ケアの中での困り事、もっと腎不全・透析について学びたい！などどんなことでも結構です。お気軽にお声掛けください。

がん化学療法看護は抗がん剤治療が治療の選択肢となる患者・家族の意思決定過程から抗がん剤治療中、その後の長期的なフォローアップという一連の経過の中で行われる看護の役割を担っています。安全で確実ながん化学療法看護を提供するために、いつでも活用してください。

緩和ケア認定看護師
前川礼子 (西館9階)

がん患者さんとそのご家族の様々な苦悩に対して、援助の難しさやジレンマを感じた経験がありませんか？患者・家族を支えるスタッフ自身の気持ちも大切に聴かせて頂きたいと思っていますので、ぜひご相談下さい！！

がん性疼痛看護認定看護師
畠尚子
(外来/緩和ケアチーム)

身体の痛みを糸口として、患者さんとの関係性を構築していくことを大切にしています。患者さんにご家族のQOLを高めることができるように、皆さんと一緒に考えていきたいです。



がん化学療法看護認定看護師

竹井淳子 (外来/点滴治療室)
稲葉温子 (西館7階)



専門看護師・認定看護師の役割とは



専門看護師 (Certified Nurse Specialist : CNS) の役割

1. 実践：個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する
2. 相談：看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う
3. 調整：必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々との間のコーディネーションを行う
4. 倫理調整：個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる
5. 教育：看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす
6. 研究：専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う



認定看護師 (Certified Nurse : CN) の役割

1. 実践：個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する
2. 指導：看護実践を通して看護職に対し指導を行う
3. 相談：看護職に対しコンサルテーションを行う

今回は、これらの役割の中から、私たちが院内で行っている「教育」と「指導」について報告します



-専門・認定看護師会で行っている院内教育活動- 「きわみ」への投稿

- 院内広報誌「きわみ」は、看護職だけでなく、全職種の方々も読まれているため、**職員皆さんに興味や関心を持ってもらえるような内容を意識しています。**
- **日常の看護に取り入れやすく、わかりやすい内容とし、皆さんに「今日からやってみよう！」と日々の看護実践に活かしていただけることをねらいとして**います。

これまでに取り上げたテーマ（一部）

領域	テーマ
慢性疾患看護	インスリン注射が怖いと訴える1型糖尿病患者への支援
手術看護	知っていますか？リックスルーツ
皮膚排泄ケア	手洗いと手荒れ
皮膚排泄ケア	石けんの泡の役割とは
がん化学療法看護	副作用を評価する基準について
脳卒中リハビリテーション看護	ギャッツアップの必要性
糖尿病看護	インスリン注射の手技確認できていますか？
がん性疼痛看護	意思決定支援における看護師の役割
緩和ケア	口腔ケア～口腔乾燥症について～

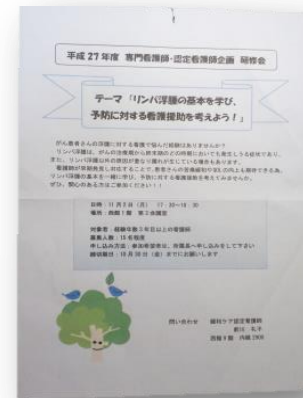


-専門・認定看護師会で行っている院内教育活動- 教育研修プログラムの開催

- 各部署の中でチームリーダーや教育的な役割を担う3～5年目の看護師を対象とした研修プログラムを平成26年度から企画・開催しています。
- 対象者が**専門的で高度な知識や技術を習得**でき、また、各部署で**教育的な役割を果たすことができる**よう、専門看護師・認定看護師会で支援したいと考えています。
- 専門的な知識・技術を習得できる場とするほか、**アセスメント力も高められる**ような内容を意識しています。
- 専門・認定看護師に**相談しやすいと感じてもらえる**ような関係づくりも意識しています。

今年度開催した研修内容

領域	研修テーマ
慢性疾患看護	「高齢糖尿病患者に寄り添った自己血糖測定とインスリン注射支援方法を考えよう！」
皮膚排泄ケア	「陰部洗浄・おむつ交換からスキンケアを考える」
皮膚排泄ケア	「基本的なストーマケア、便破棄の統一を目指そう」
がん化学療法看護	「CVポートの取り扱いについて」
乳がん看護	「乳がん患者の退院支援について学ぼう」
透析看護	「血液透析を知ろう！」
糖尿病看護	「血糖値の変動を理解し、患者の安全につながる低血糖の対処について学ぼう！」
がん性疼痛看護	「がん患者の痛みを理解しよう」
緩和ケア	「リンパ浮腫の基本を学び、予防に対する看護援助を考えよう」
手術看護	「周術期の体温管理を理解する」
脳卒中リハビリテーション看護	「経口摂取のできる口作り」



**今後も開催予定の研修があります
のでぜひご参加下さい！**

-教育研修プログラムの開催- 研修参加後のアンケートから

今年度10月までに開催された研修のアンケート結果です

参加者の経験年数

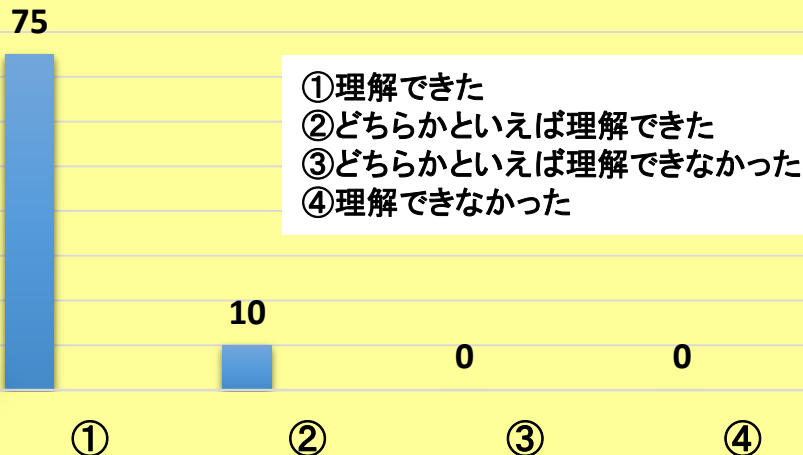


合計85名の方が参加されました。
対象としている3~5年目の割合が
一番多かったです。
11年目以上の方にも多く参加して
いただいています。

参加者の全員から、研修の内容を
ほぼ理解できたという回答を
得られました。



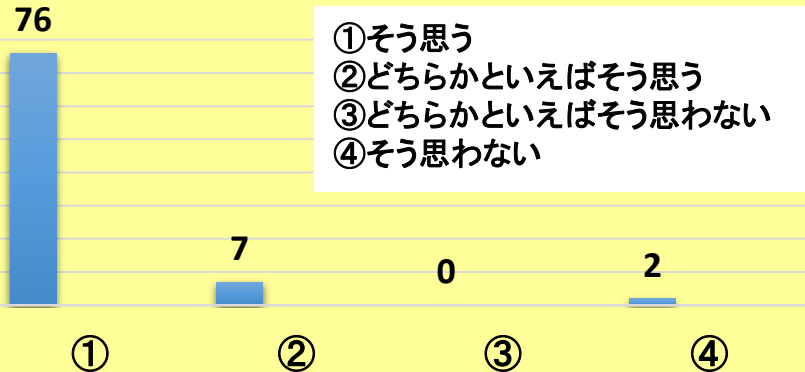
問1 研修の内容は理解できましたか



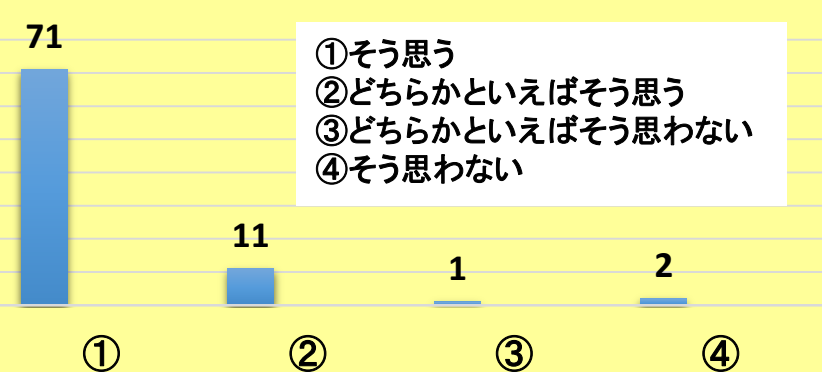
-教育研修プログラムの開催-

研修参加後のアンケートから

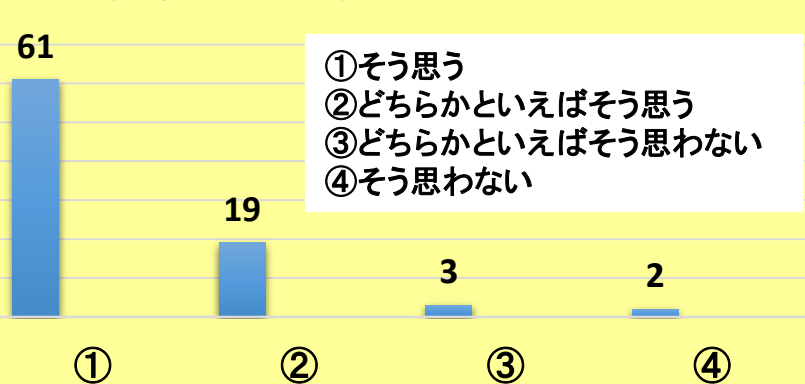
問2 今後の看護に活かすことができると思いますか



問3 後輩への指導に活かすことができると思いますか



問4 この研修を終えて、専門・認定看護師へ相談しやすくなると思いますか



多くの参加者の方から、研修で学んだ内容を**今後の自身の看護や指導に活かすことができる**という回答を頂くことができました。



-教育研修プログラムの開催-

参加者の声

研修を終えての感想

- 根拠がわかりやすかった
- 体験型の研修で理解が深まった
- 自分が今まで行っていたケアの方法の見直しができる
- これからの看護実践にぜひ取り入れようと思った
- 効果的なケアがわからず困っていた患者さんもいたので、参考になった
- 患者指導に活かしていきたい
- 資料が見やすかった
- また他の内容でも研修してほしい



今後、どのようなことを学びたいか

- **最新の情報**
- 症状に対する**具体的な対処法**
- 症状や日常生活などについて、**患者への具体的な指導方法**
- 看護記録の要点
- 分野に関連する**社会保障手続きなどについて**
- それぞれの分野の**事例を通じた勉強会**



まとめ

- ・研修プログラム参加者の殆どが、**研修内容を自身の看護や後輩指導に活かせる**と感じており、ねらいは概ね達成できている。
- ・研修プログラムを通して、多くの参加者が**専門・認定看護師へ相談しやすくなった**と感じている。今後も、専門・認定看護師を相談しやすい存在に感じてもらえるよう活動を継続していく必要がある。
- ・スタッフは**患者への具体的なケア方法や指導方法について知りたい**と感じていることがわかった。
- ・スタッフは専門・認定看護師に対し、**各専門分野の「最新の情報」を求めている**ことがわかった。

今後も、皆さんの知りたい・学びたい気持ちの後押しができるよう、頂いた感想やご要望を今後の研修プログラムやきわみなどに取り入れながら、教育活動を継続していきたいと思います。

皆さんの日々の看護の充実のお役に立ちたいと思っておりますので、**お気軽にお声かけ下さい！**

